

◎組合訪問記「自動車総連…三菱ふそう労働組合 本社支部」

いつでも身近な労働組合をめざして ーコミュニケーションにはコミュニケーションが必要！ー

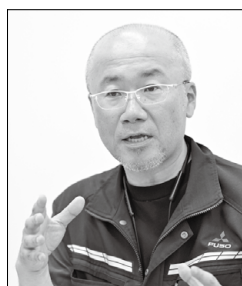


明るく開放的な組合事務所。事務所の入り口では、木の看板がお出迎え

Q1 労働組合の成り立ち、組合員数、役員体制は？
2003年10月、三菱自動車工業からの分社化により三菱ふそうトラック・バスが設立、それに伴い同年、三菱ふそうトラック・バス労働組合が発足しました。06年、メーカーと26の販売会社および技術系関連会社が統合されたことにより、

07年10月に働く仲間がひとつになった「三菱ふそう労働組合」がスタートしました。当時は、27支部体制でした。その後、販売支部の統合等により21年10月に北日本、南関東・甲信、本社、東海・北陸、近畿、西日本の全6支部体制となり、現在に至ります。世界でも大変珍しい、販売とメーカーが一体となった労働組合です。組合員は25年4月現在約7700人、製造（約3200人）販売（約4500人）の仲間からなる組織です。製造現場3200人のうち約13%が女性、約11%が外国籍の組合員です。親会社がダイムラートトラック社です。世界的にはダイムラートトラックグループに世界労働者会議（WEC）のアジア代表として参加し、連携をはかっています。そこから、ドイツのIGメタルやインダストリアルとの関係性も深めています。

本社支部は、川崎、中津、喜連川（研究所）、計3つの工場・研究所で構成しています。支部長以下専従役員が6名です。職場16+3ブロックで構成しており、日常の活動については各職場のブロック専任役員が、約200〜300人の組合員の取りまとめを行っています。また、職場横断的なブロックとしてインターナショナルブロック、女性ブロックにも専任役員を置き、外国籍組合員や女



齊藤 恵治
さいとう けいじ

2004年 労働組合専従執行
2010年 本社支部執行委員
2014年 本社支部副支部長
2019年 本社支部支部長
2023年から三菱ふそう労働組合
副中央執行委員長を兼任

性組合員の意見を補完し、職場ブロックのサポートも行っています。

Q2 労働組合の特徴的な活動は？

本社支部は厚生棟の2階にあります。3階には社員食堂があることから、組合員も立ち寄りやすい場所になっています。三菱ふそう労働組合の本部が隣にありますので、常に連携をとって活動をしています。

主な活動方針は4つの柱からなっています。①共済や余暇サポートの「相互扶助活動」、②教育・広報の「広報活動」、③総合生活改善や安全衛生活動の「労働対策活動」、④政策・制度への取り組みなどの「政治活動」です。

特に組合役員の人材育成、男女共同参画、未来の組合活動に向けてやるべき支部の活動、広報活

自動車総連：三菱ふそう労働組合 本社支部



上／Wing 主催による新入組合員歓迎ボーリング大会
下／支部主催のダークアクアリウム。賞品争奪ゲーム大会では大興奮



毎月発行の「Fun 本社支部ニュース」。イベント情報や委員会報告など盛りだくさん

動には力を入れています。機関誌は毎月発行しています。いつでも身近な組合をめざして、独自のパンフレットも作成し、共済や映画鑑賞・アウトドア施設利用・いちご狩り等への補助、生活面でのサポートなどをPRしています。もちろん、外国籍の組合員向けに英語版も作成しています。「何か困りごとがあったら遠慮なく相談してくれ！」という思いで作成・配布しています。最近では労組と組合員をつなぐアプリも利用して、団体交渉の結果やイベントの告知など積極的にを行っています。現在約800人が利用しています。これからもっと利用者数を増やしていきたいですね。本社支部の広報活動はこの支部にも負けません。ズバ抜けていると自負しています。

一時金支給日には門前で募金活動を行い、近隣の福祉施設に寄付をする活動もしています。

Q3 特に重点的に取り組んでいる活動は？

やスポーツイベントなど支部の独自性を出したイベントを数多く開催しています。例えば、今年の3月には閉館後の夜の水族館を貸し切って、「ダイクアクアリウム」を開催しました。薄暗い水族館をランタンで照らしながら探索するのです。とても幻想的でした。組合員とその家族176名が参加しました。

若手や女性ブロック向けのイベントなども行っています。

Wing という若手組織が中心となって、4月に「耐久カートレース」を開催しました。今年で4回を迎え、総勢67名が参加しました。チーム対抗ということもあり、事前に作戦会議を行うなどかなり盛り上がりました。また、新入組合員歓迎会のボウリング大会をWing主催で行っています。

女性ブロックでは、新米ママさんと先輩ママさんの座談会を開催しています。また、昼休みに食堂カフェテリアの一角で昼食をとりながら、ざっくばらんに雑談するランチ会を開催しています。

コロナ禍以前は、キャンプなども行っていました。これらのイベントには外国籍の組合員も参加しています。コミュニケーションにはコミュニケーションがとても必要だと思っています。イベントなどコミュニケーションを提供することで、皆さんが積極的にコミュニケーションを図ってくれば幸いです。

Q4 現在抱えている課題やその課題への対応は？

課題は組合役員や委員の人材確保でしょうか。以前より組合主催のイベントも増えて参加者も増えていますが、専従役員だけではなく、職場ブロックの役員、委員なども含めて次世代の労働組合活動を支える人材の確保が課題です。製造現場と間接部門の始業時間が異なっていることや在宅勤務など働き方の多様化が原因のひとつだと考えています。労働組合の主なミーティングが就業時間後に行われることから、間接部門の方や子育て世代にとってはハードルが高いと感じるかもしれません。多くの組合員の皆さんの声を吸い上げるために女性の組合役員の確保も課題です。組合活動に興味を持っていただく方策として、広報活動を強化し、組合のイベントなどを通して組合を身近に感じて組合の活動を理解していただくことを心掛けています。

Q5 組合活動を進める上でモットーは？

まずは自分自身が元気でいることが大切だと思います。元気でないと労働組合の基本である人助けはできない。組合活動では耐えなければならぬことも多くあります。そういう意味でも自分がエネルギーを持っていないと、誰も頼ってくれません。役員の中で一番多く職場を回ることも心掛けています。何か困りごとがないか、現場に足を向けることで「いつでも身近な三菱ふそう労働組合本社支部」を実践しています。